

阿賀野市緑町自治会（新潟県）

活動地域

新潟県の阿賀野市から参りました緑町自治会防犯パトロールについて発表します。

阿賀野市は、新潟県のほぼ中央に位置しておりまして、平成16年に4つの市町村が合併してできた市です。旧水原町というところに私ども緑町自治会がございます。昭和50年に自治会が発足した住宅地でございます。



すぐ近くには瓢湖という平成20年にラムサール条約に登録された湖があり、毎年冬になると6,000羽ぐらいのハクチョウがシベリアからやってきます。カモ、ハクチョウというのは非常に警戒心が強い鳥ですが、瓢湖にいるハクチョウとかカモは人を恐れませんが、カモ同士、ハクチョウ同士でも情報交換をされていて、「ここは安全だよ」ということを分かっているのではないかと思います。6月になりますと、瓢湖の近くのアヤメ園では、215種類、50万本のアヤメが咲き乱れます。8月には瓢湖の湖面がハスに覆われます。非常に多くのカメラマンが撮影に来る所でもございます。

防災部活動をきっかけに防犯パトロール隊発足

わが緑町で過去に、強盗事件、車上ねらい、不審火等の事案が発生した際に、自治体から、防災運動で「夜、パトロールしてみないか？」と声が掛かりました。そのときに21人が参加して防災部が結成されました。そして長年途絶えていた消防団も復活させようと、21名のうち10人ほどで消防団も復活させ、年間100回を超える夜間のパトロールを実施しております。班員が30名ほどおりますので、3名ずつ10班に分かれまして、好きな時間帯を設定しています。残業が終わってから回るチームもありますし、高校生が帰るぐらいの明るいうちから回り出すチームもあります。



新潟は当然、冬は寒くて時には氷点下ということもしばしばあります。途中で休憩して、また歩き出すなんていう人もあります。別にルールがあるわけでもなく、楽しくやっている次第です。

自治会内でも、ご老人が行方不明になったときとか、雨で洪水になったときに、いち早く自治会から防災部に招集が掛かりまして、行方不明者を捜索したこともありました。警

察署や消防団を招集するよりも早いので、小回りの利く、迅速な対応ができるということでも高く評価されております。

防災部では毎年秋に消火訓練を実施しています。天ぷら鍋を燃やして布をかぶせて消火したり、家庭用消火器を使ったりと物珍しいので、最初は見物も含めて100人近く参加していました。しかし、だんだん減ってきて役員の方ばかり参加するという始末になり、これではいかんということで知恵を絞り、「卵1パック10円でどうですか？」ということで売り出してみました。そうすると途端に集まりまして、それ以来、毎年100人を超える参加者があります。

初期消火に役立つだろうということで、川から水を汲んできたり、家庭用の風呂から水を汲んできたりして100人のバケツリレーをやっております。実際に使えるかどうかというのは置いておきまして、何か運動会のような様相で、みんな楽しく和気あいあいやっております。実際に消防署の方が来て、消火栓で放水の実施体験もさせてもらっています。

防災部では毎年12月になりますと、班の組長の夜警体験を実施します。町内会には15班があり、組長さんは毎年入れ替わります。新しく組長さんになったとき、防災部と一緒に夜警体験をしてもらっています。写真は、不自然な所に自転車が放置されていたので、すぐ阿賀野警察に電話して登録番号を伝えたところ、15分後には持ち主が判明。中学生の自転車が盗まれて大変困っていたという報告を受けました。そんなシーンです。

平成16年11月に、奈良県で小学生が被害者となる世間を震撼させる残忍な事件が起きました。この事件をきっかけに、防災部でも「昼間もパトロールしようじゃないか」という声は上がりましたが、みんな仕事を持っているため、なかなか実現できませんでした。しかし、翌年になって1月10日のことでしたが、毎年恒例の新年会で、頃合いよく酔っている人に、「ちょっとパトロールやりませんか？」って声を掛けたら、「おお、やろう、やろう」という声上がり、1週間後に代表の方に集まっただいて、準備会議をしたわけですが。酒の勢いもあったので「すみません、1週間に2回か3回、ちょっと力貸していただませんか？」と話したら、「いや、毎日やろう」となりまして、「そんなつもりじゃないんですけど」という感じですが、皆さんエンジンが掛かってしまいました。す



ぐその翌日に、小学校に赴きまして、校長先生に「パトロールをやります」と。そして警察署に行って「パトロールをやります」と。私と当時の自治会長と一緒に行って表明してきました。

そんなことで、わずか1日でパトロール宣言をして、23日にまた準備会議をして、24日からパトロールを始めました。2月になりまして、一気に隊員が32名に増えました。その後ユニフォームも完成して本格的に活動しています。

防犯パトロール隊結成までの経緯

- 1月10日 新年会席上で声かけ賛同を得る
- 17日 準備会議1 自治会3役の協力
- 18日 小学校と阿賀野警察署に宣言
- 23日 準備会議2 巡回担当を決める
- 24日 パトロール開始
- 2月 6日 第1回パトロール会議
- 8日 隊員が32名となる
- 5月17日 パトロールユニホーム完成
- 11月1日 テレビ取材(Teny「テレビグラフ新潟」)

子どもの安全を守るべく、警察、市、学校など関係機関と連携し、わずか1年足らずで、結成に至る！

活動の概要と効果

これは下校時のパトロールです。学校からFAXを送ってもらって下校時間に合わせたパトロールを行っております。防犯パトロール隊以外にも、「ながらパトロール」というものがございまして、オレンジ色の帽子をかぶって、農作業ですとか、運動会ですとか、朝のラジオ体操などに参加しています。

この親子の写真は、組長さんなんですけど、組長さんは月2回の、広報の配布がありますが、配布にこの子供さんがいつも一緒に付いていくんですね。おばあちゃんの話によると、この帽子が非常に気に入ったみたいで、「かっこいいって思われてるんですよ」ということでございました。

下校時のパトロール



元気な挨拶が飛び交います

ながらパトロール



ラジオ体操の後ろにも

小さなパトロール隊



パパと同じ帽子をかぶるのが大好きです

刑法犯、窃盗事件の発生件数の推移です。ちょっとグラフが増えている時期もありますが、ひところに比べて減少しています。



自治会では、さまざまな行事を行っています。やはり隣人同士、新しい人、古い人の考え、顔が分からないと困りますので、防犯活動に役立てるというわけでもありませんが、いろいろな行事に取り組んでいます。夏祭りや運動会、文化祭や新年の餅つき大会です。

そして、このパトロール隊も、今では45名になりましたが、みんな、発足時から比べまして、ほとんどのメンバーが入れ替わっております。やっぱり、高齢化に伴い退会される方も多いんですけども。当時は全員、男性でしたが、今では、女性の方が半分以上を占めておまして、女性の方は新潟では「おなごしょ」と言うんですけども、おなごしょは、パトロールしながらでも、「おめさんも一緒にパトロールしねかね」って言うんですね。そうすると、だんだん増えていくんですね。そういうことで、だんだんと女性の方が、そのうち、全員女性になるんじゃないかなと思ったりしております。

そして、私たち、防犯パトロール隊の結成のきっかけとなりました奈良県の女児誘拐殺人事件の2年後でしたか、記者団がこんな質問を被害者のご両親に投げかけました。「事件以降、子供たちを守る活動が広まっているけど、このことについて、どのように思いますか？」という質問に、ご両親は、「子供を守る取り組みは、子供を持つ親だけでは限界があります。地域一丸となって、子供たちを温かい目で見守っていくことが、安心・安全への第一歩であると思っています。何も起こらないための取り組みであり、継続することは大



変なことです、私たちのような悲しい思いを誰もしないためにも、子供を守る取り組みが広がり、継続されていくことを願っています」と、そういうふうにお父さんが述べておられました。

このお父さまの思いを、あらためて肝に銘じまして、無理をせず、1日でも長く、活動を継続できるように、今できることに最善を尽くしたいと考えております。また、究極には、このパトロール隊が要らない平和な社会になることを祈念して、終わらせていただきたいと思っております。ご清聴、ありがとうございました。